

YOTSUBA の 風

伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校 学校通信 第5号 平成29年5月17日発行



大きく成長した2日間!! 1学年 《宿泊オリエンテーション》

「将来の夢や目標を定め日々の生活の充実を図ることや、学級や学年の集団生活の向上を図ること」を目的に、5月9～10日の2日間、国立赤城青少年交流の家において1学年の宿泊オリエンテーションが行われました。当日の天候が心配されましたが、雨で活動が遮られることなく、逆に過ごしやすい気温の中すべてのプログラムを実施することができました。2日間の活動を通して、話を聞く姿勢、集中力、自分で考えて行動する力等、大きな成長を見せてくれました。

1日目の最初のプログラムは、班の仲間と協力しての鍋割山登山でした。困難な岩場では、お互いに声を掛け合い登り方を教え合うなど、班で協力し、登りも下山も一人の脱落者もなく元気に登山を終えることができました。

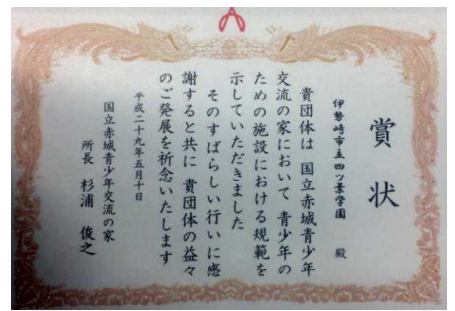
入所式のあとは、合唱練習と宮沢賢治の「雨ニモマケズ」の群読でした。合唱練習では、伴奏や各パートのリーダーに積極的に挑戦し、最後は、講堂いっぱいに歌声が響きわたり、聞いている皆に感動を与えてくれました。「雨ニモマケズ」の学習では、自分の分担を精一杯暗唱し、素晴らしい群読を披露してくれました。

進路学習では、サポートリーダーとして参加してくれた2年生のリードのもと、学校生活の不安や悩みへのアドバイス、そして、将来の夢やその実現に向けて今取り組むべきことなど、積極的に意見を発表し合い、大変意義のある活動となりました。2年生のサポートリーダーの皆さん本当にありがとうございました。

2日目は、進路学習のまとめと委員会ごとに協力して活動したカレー作りでした。各自が自分の役割をてきぱきとこなし、どの委員会もおいしいカレーを頬張っていました。後片付けも協力して行うことができました。

退所式では、交流の家の方から「規範意識が高く模範となる団体」に与えられる賞状をいただくことができました。

進路学習のまとめ「宿泊オリエンテーションで学んだこと」を紹介します。



私は、宿泊オリエンテーションで二つのことを学ぶことができました。一つ目は、「四ツ葉学園に入学したことがゴールではなく、入学してからが本当の始まり」ということです。私は、四ツ葉学園に入学することができたことで「自分はもうがんばったのだからいいのではないか」と自分を甘やかしているところがありました。しかし、四ツ葉学園に入学したことを「始まり」と考え、自分の目標を定めて、それに向かって努力をしていくことで成長することができることが分かりました。二つ目は、「今できることを一生懸命がんばる」ということです。将来の夢を見つけるためには、まず、自分のことをよく知らなければいけません。私は、「将来の夢」がまだ見つかっていなくて悩んでいました。そのためには、苦手なことも自分にできることはあきらめずに粘り強く続けることが必要ということが分かりました。それなので、四ツ葉学園では自分から進んで何事にもチャレンジし、最後までやり抜くことを目標に掲げてがんばりたいと思います。また、人に言われて動くのではなく、自分で考えて動くように心がけ、四ツ葉学園での6年間でたくさん成長したいと思います。